

企業名： 株式会社ダイセル

レポート名： ダイセルレポート

### 1. この会社が目指している将来の姿が理解できるか

株式会社ダイセルの「ダイセルレポート 2024」において、同社が目指している将来の姿は明確に描かれており、持続可能な社会への貢献を重要なテーマとして掲げている。具体的には、同社は「価値創造によって人々を幸せにする会社」を企業の基本理念として位置づけており、その達成に向けた数々の取り組みを報告書内で明示している。特に、サステナブルな経営によって環境負荷を低減する技術や製品の開発を加速させる方針を示しているほか、すべてのステークホルダーを大切にしようとする姿勢や、化学製品のリサイクル技術の開発など、事業運営の中での ESG（環境・社会・ガバナンス）への取り組みを強化していることが強調されている。また、ダイセルは「社会的責任を果たす企業」として、環境だけでなく、社会課題にも積極的に取り組む姿勢を見せている。これにより、同社は持続可能な成長を目指すと同時に、社会的な期待に応える企業としての信頼を築こうとしている。加えて、革新的な製品を提供し、グローバル市場で競争力を維持するためにも、新技術の開発に注力していることがうかがえる。以上のことから、ダイセルが目指している将来の姿は、環境保護や社会貢献を基盤にした持続可能な成長を実現する企業としての姿勢が強く伝わっており、その方向性には十分な理解が得られる。

### 2. この会社の現在の競争優位性が理解できるか

ダイセルの現在の競争優位性は、技術力、品質管理、そして環境対応力にあると理解できる。まず、同社は化学業界におけるリーディングカンパニーであり、その技術力はシェア率という形で表れていると考えられる。同社はメディカル・ヘルスケア事業、スマート事業、セイフティ事業、マテリアル事業、エンジニアリングプラスチック事業の5つの展開しており、各事業で世界シェア 1 位や国内シェア 1 位の製品を生み出している。このことから、同社は現在極めて高い競争優位性を持っていると考えられる。創業以来「セルロース化学」を起点としながら、「有機合成化学」や、多様な樹脂の展開により培ってきた「高分子化学」などの4つの技術領域が、今日の業績やシェア率の高さに表れていると言えるだろう。

### 3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

ダイセルの競争優位性には一定の持続性があると考えられるが、その持続性を確保するた

めには引き続き技術革新と市場環境への柔軟な対応が求められる。同社は、現在でこそ圧倒的なシェアを誇っている分野があるとはいえ、先行きの読めない化学業界では市場環境の変化も早いと、競合他社にシェアを奪われてしまう可能性も十分に考えられる。また、新興国においての需要の高まりや、チャイナリスクなども考慮すると、ますます世界経済の動向を注視しながら経営を行っていくことが求められる。

こうしたこともあり、同社は、特に高機能化学製品やリサイクル技術などの分野において、競争優位性をさらに高めるための研究開発を進めている。しかし、先にも述べたように化学業界は技術革新が急速であり、競争が激化しているため、ダイセルが現在の優位性を維持するためには、さらなる技術革新と市場の変化に迅速に対応する必要がある。

#### 4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

ダイセルで自身の人的資本の価値向上を達成できるかどうかは正直なところ微妙である。というのも、ダイセルは ESG への取り組みを強化しており、社員が社会的責任を果たしながら環境や株主以外のステークホルダーにも配慮しながら経営を進めていく方針であることは理解できる。しかし、そうした仕事に携わり、社会的な意義を感じながら働くことができる一方で、それが人的資本の価値向上に繋がるかと言われれば疑問が残る。さらに、現在の同社の競争優位性は、人的資本というよりむしろ製品それ自体の魅力によって担保されているように思う。今後も同社で働きながら人的資本の価値を飛躍的に向上させることは、現時点では想像が難しい。

#### 5. 報告書のよかった点はどこか、どのような改善余地があるか

報告書の良かった点は、企業のビジョンや戦略が非常に明確に示されている点である。特に、持続可能な社会の実現に向けた取り組みが具体的に記載されており、同社の持続可能性に対するコミットメントが強調されている。また、環境負荷削減の目標や実績、数値目標が示されている点もよかった。

改善余地としては、報告書内で述べられている環境目標や競争優位性についての具体的な数値データや成果をさらに詳細に示すことで、読者に対する説得力を高めることができると考える。

#### 【参考文献】

ダイセルレポート 2024 [daicel\\_report\\_2024.pdf](#)